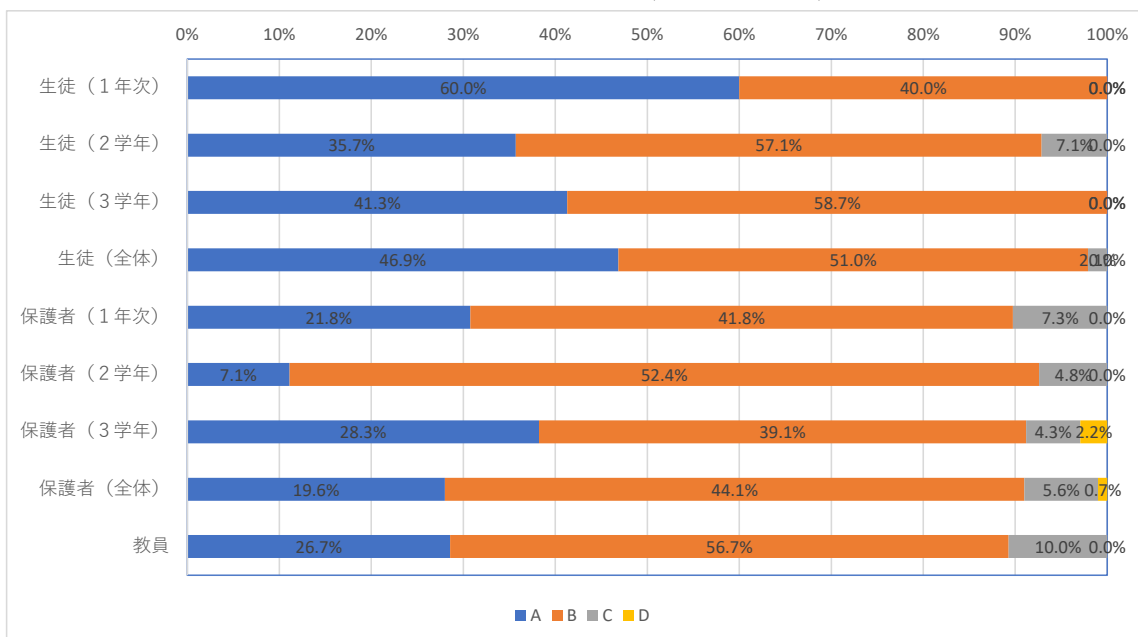


# 令和6年度 学校評価アンケート 年度末反省

		在籍数	回答数	回答率
生徒	全体	148	141	95.3%
	1年次	55	55	100.0%
	2学年	44	41	93.2%
	3学年	49	45	91.8%
保護者	全体	148	100	67.6%
	1年次	55	39	70.9%
	2学年	44	27	61.4%
	3学年	49	34	69.4%
教員		30	28	93.3%

福島県立南会津高等学校本校舎  
学校評価委員会

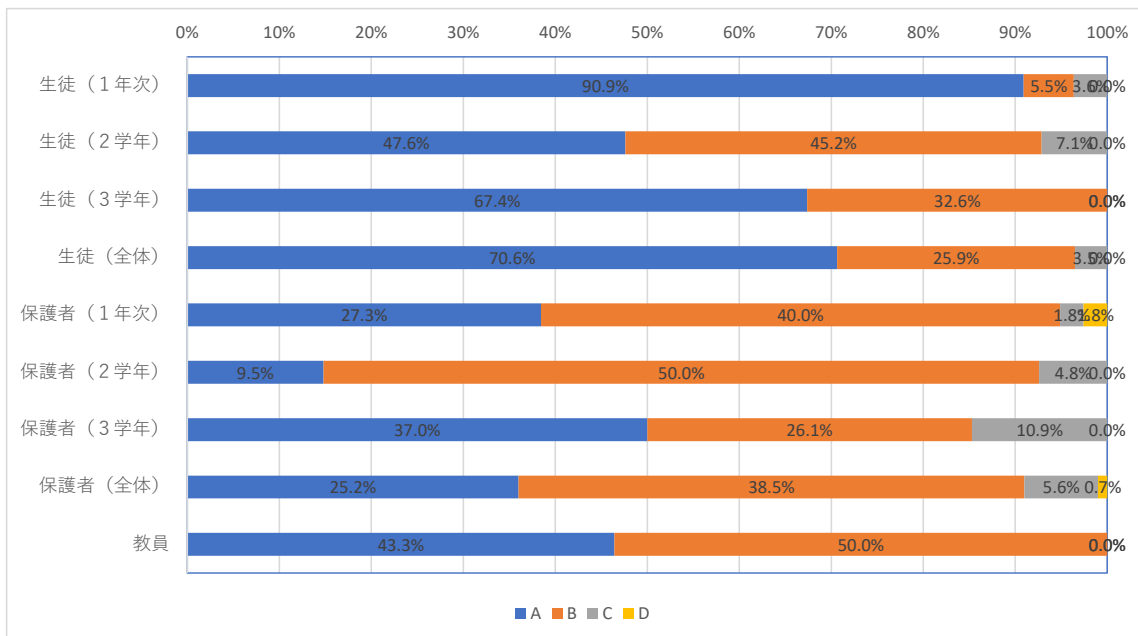
1. 教科の特性を生かして、分かりやすい授業が展開されている（を展開している）。



○教務部

結果からも、教科の特性を生かした、分かりやすい授業が展開できていると思われる。  
今後とも、このような結果となるよう、全教員でよい授業作りに励みたい。

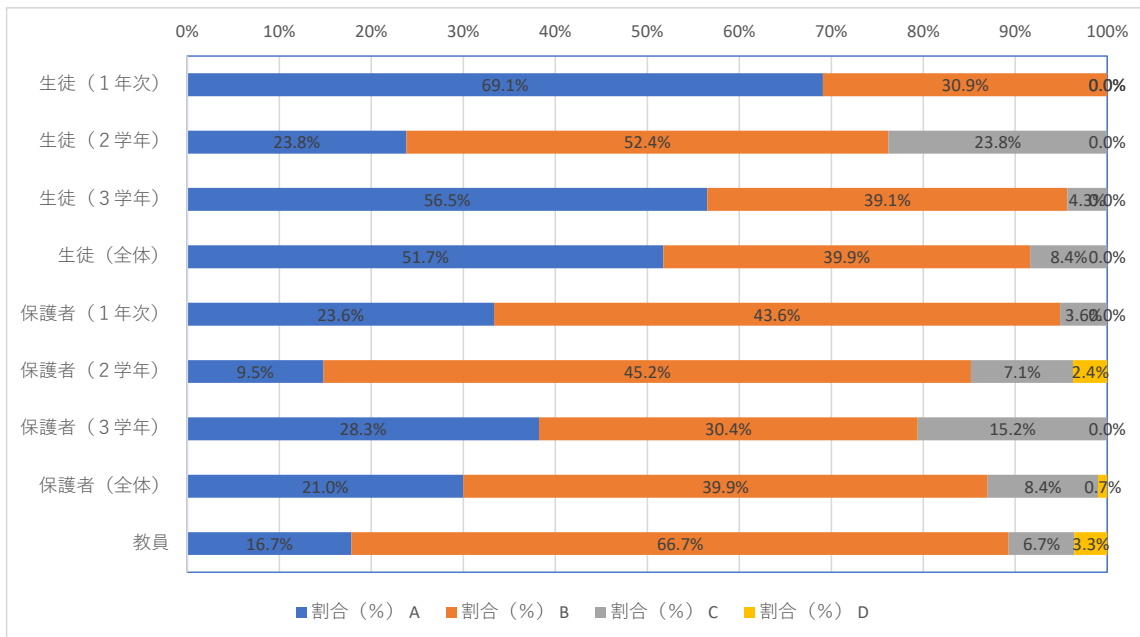
2. 進路の実現に向けて、進路ガイダンスや講演会が十分に行われ、説明会や課外などが充実している。



○進路指導部

概ね肯定的な回答を得ることができた。授業時間の確保等とバランスを考えながら今後も検討していきたい。

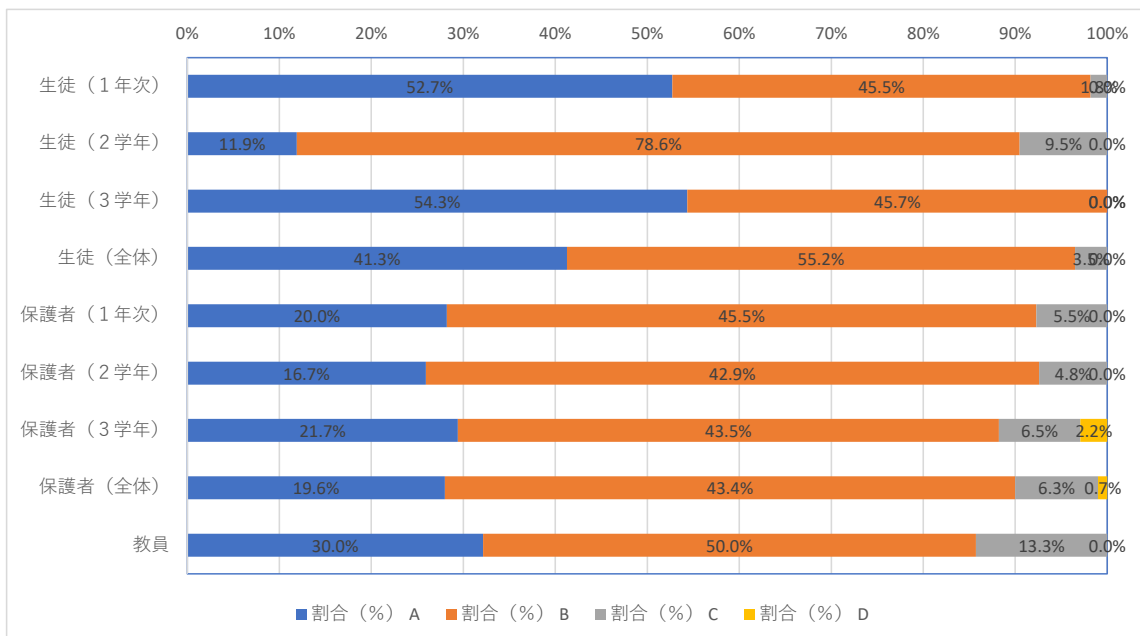
3. 「クラスルーム」を活用しながら、学年に応じた進路情報が発信されている。



○進路指導部

2か月1回の進路情報を各学年のクラスルームに掲載してきたが、閲覧できない保護者と一部の教職員には認知されにくいという結果となった。

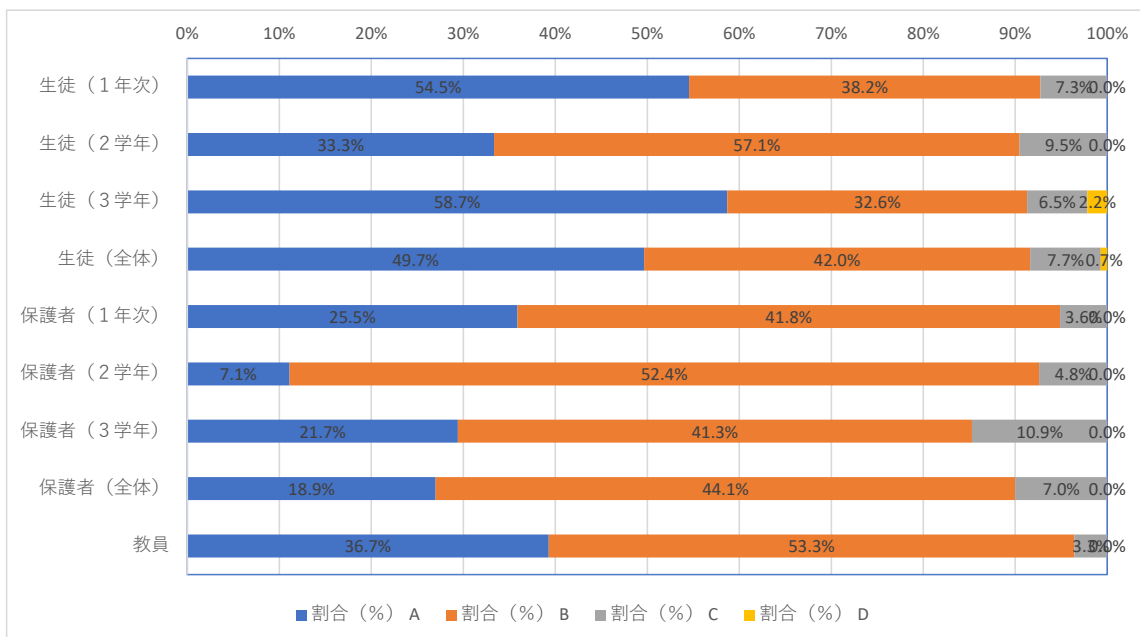
4. 総合学科（1・2年生）または普通科（3年生）としての教育課程の特色や履修の仕組みが正しく理解できるよう、分かりやすい指導を行っている。



○総合学科推進部・教務部

[総進部] 2年次のA評価の割合が著しく低い状況はあるが、1年次の評価状況から今年度は本校の教育課程の特色や履修に関して概ね理解できるように指導することができたと感じる。今後も科目選択等に関して生徒の不利益や混乱が生じないように業務を進めたい。

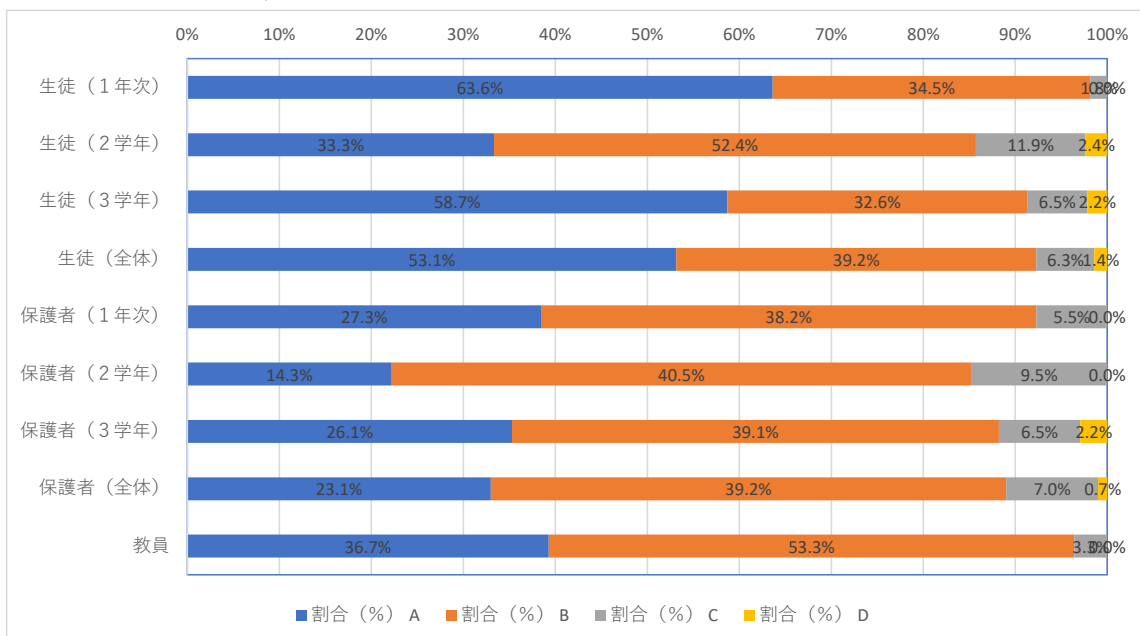
5. 交通安全、社会的ルールなど学校生活を安全に送るための丁寧な指導が行われている（を行っている）。



○生徒指導部

車による生徒の送迎についての保護者への依頼や自転車点検を計画的に行った。全体的な数字を見れば概ね良好と判断できるが、具体的な交通安全指導を次年度新入生より実施し、更なる安全意識の高揚に努めたい。

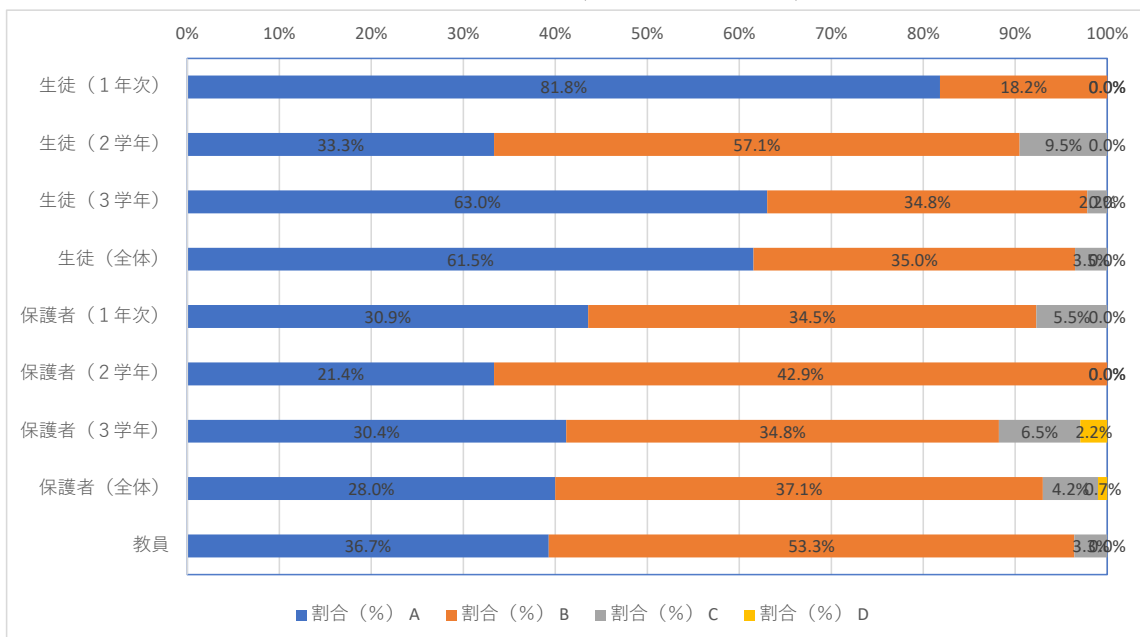
6. 頭髪服装指導・あいさつや時間の厳守、基本的生活習慣の定着に向けた丁寧な指導が行われている（について丁寧な指導を行っている）。



○生徒指導部

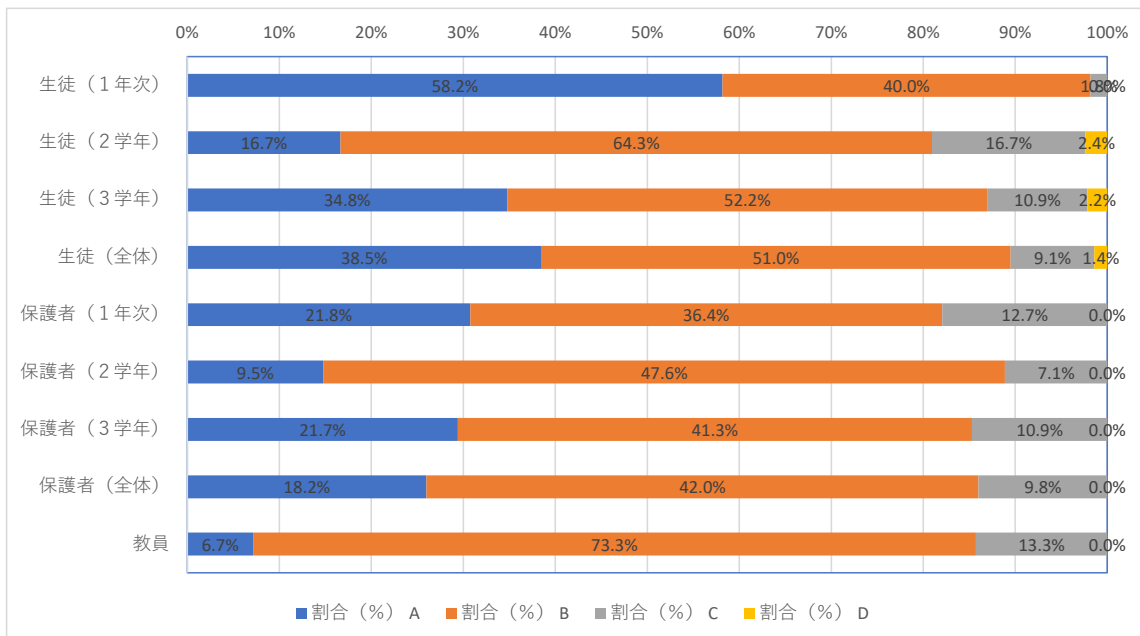
特に2学年生徒・保護者の数値がやや低い。今年度も校内における携帯電話の適切な使用やマナー、モラル等について学年集会を開催するなど学年・指導部が連携して指導してきたが、その定着に向けて根気強く指導する必要性を感じている。

7. 部活動や生徒会活動、ボランティア活動が活発である（を活発に行っている）。



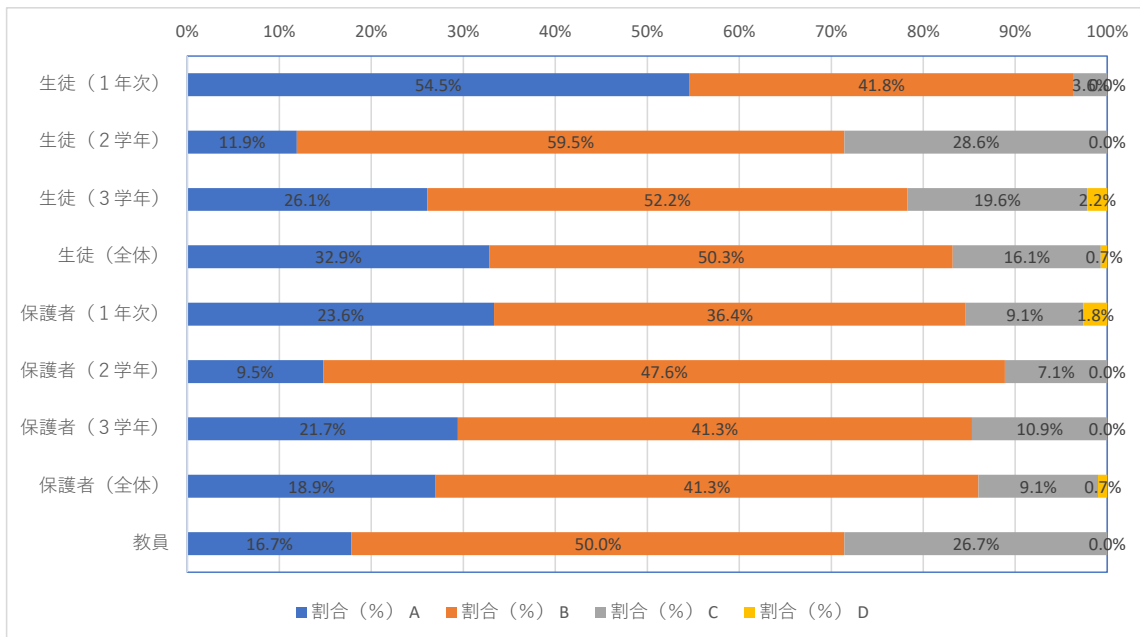
○生徒指導部  
 部活動、生徒会活動については非常に活性化した印象がある。顧問の指導の下、生徒が主体的に活動する場面が多く見られた。ボランティア活動については除雪ボランティアやJRC委員会の活動がメインとなったが、より主体的な活動を促したい。

8. 充実した教育活動を行うための施設・設備が整っている。



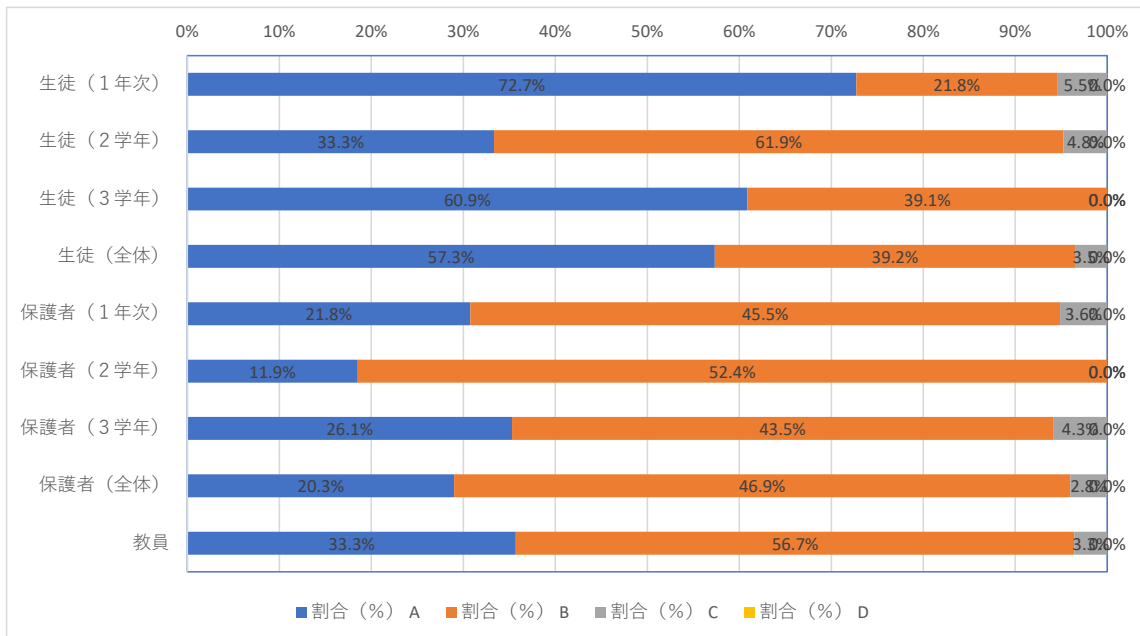
○施設保健・図書・寮務  
 工事の関係で、今年度に引き続き次年度も教室配置は変則的ではあるが、エアコンやプロジェクターを配置してもらい授業に支障のないようにできている。特別教室などWi-Fiの使える場所も拡充されてきている。図書館内のレイアウトを変更し、生徒が利用しやすい環境づくりを心掛けた。

9. 校舎内外の美化環境の整備がなされている。



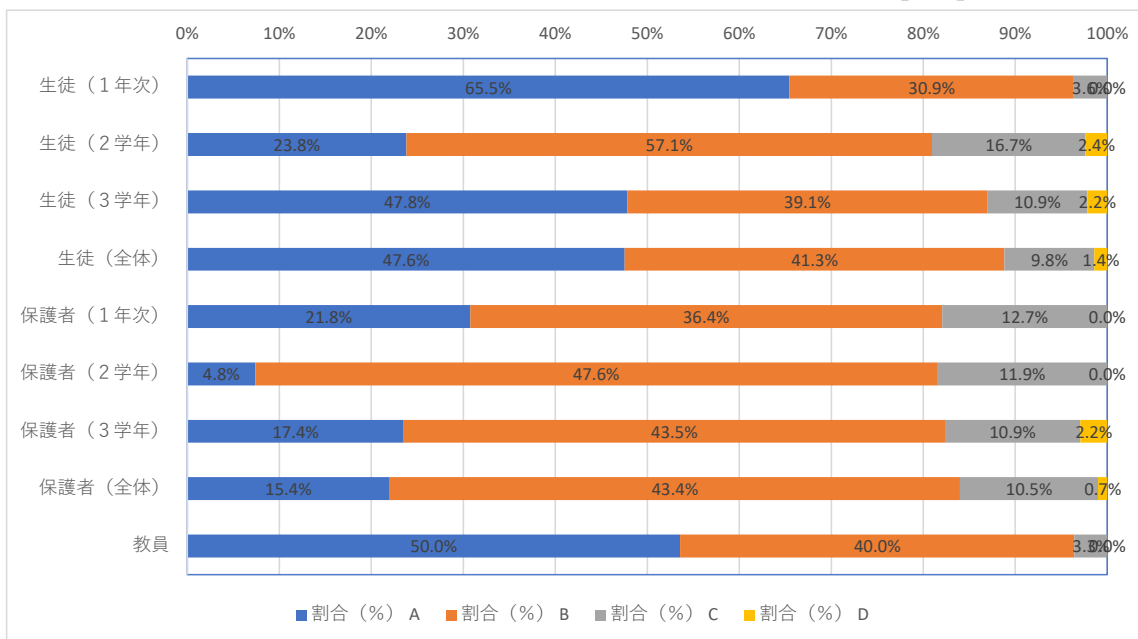
○施設保健  
敷地が広く、不十分なところもあるが、昨年度より教員数・生徒数が増え、清掃の割り当て箇所も増やすことができた。今年度は、熱中症の心配があり一斉清掃を中止したので、次年度は時期を早めて実施したい。

10. 避難訓練など命を守るための安全教育が行われている（を行っている）。



○施設保健部  
春季避難訓練が初夏の実施で熱中症の心配もあり急遽避難場所を変えることとなった。次年度は時期を早め実施する。HR教室からの避難訓練しかできていないので、次年度はHR教室以外からの避難訓練も設定したい。職員対象の心肺蘇生法講習も継続して実施したい。

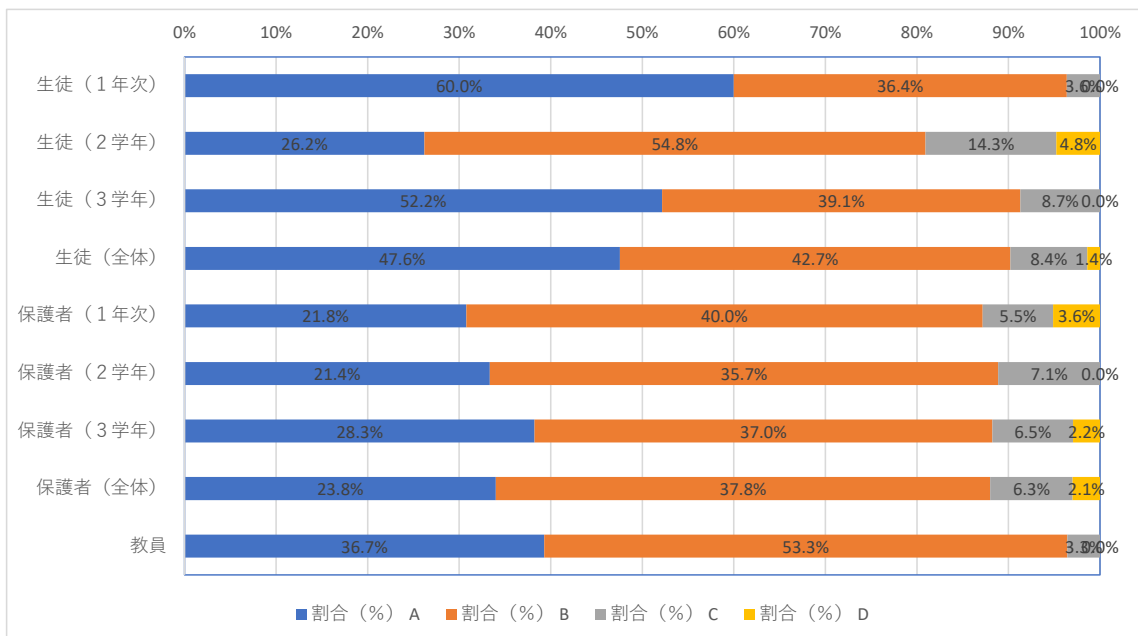
11. スクールカウンセラーとの相談をはじめ、相談しやすい雰囲気や体制が整備されている。【生徒・保護者】  
 スクールカウンセラーとの相談をはじめ、教育相談体制は整備され、充実している。【教員】



○生徒指導部

面接週間における面談を計画的に実施し、生徒の悩みや問題の早期発見・対応に努めた。教育相談担当教諭が中心となってSCや外部と連携しながら解決に向けた取り組みを実施し、生徒の状況と社会性とのバランスをとりながら充実した指導になったと感じる。

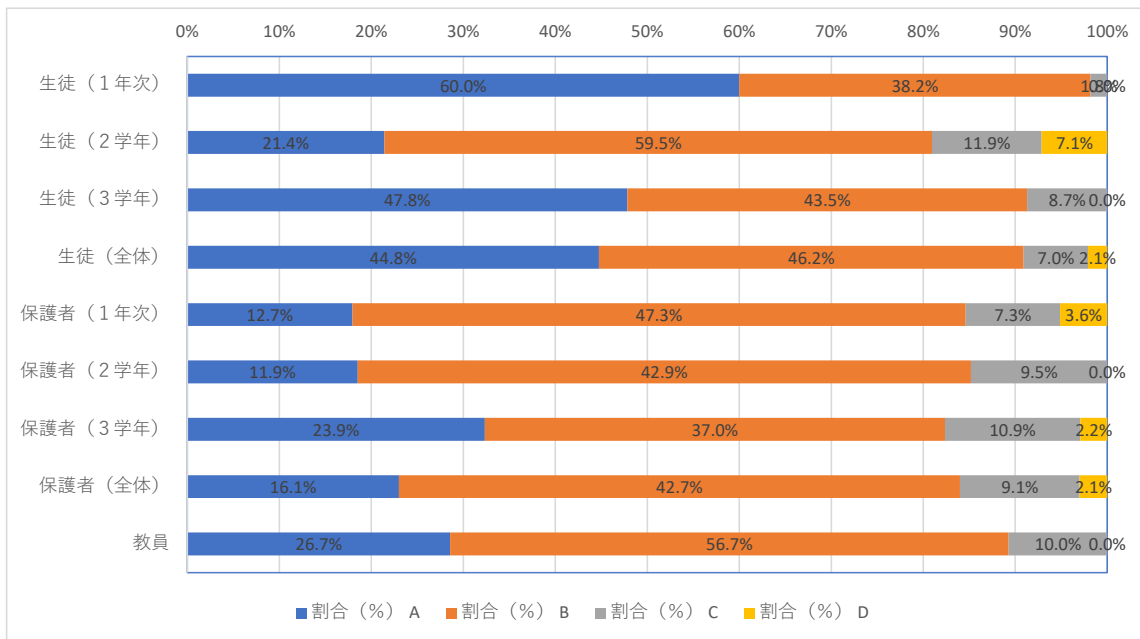
12. 必要に応じて、タブレットなどのICT機器を用いた授業が行われている（を行っている）。



○情報ネットワーク部・教務部

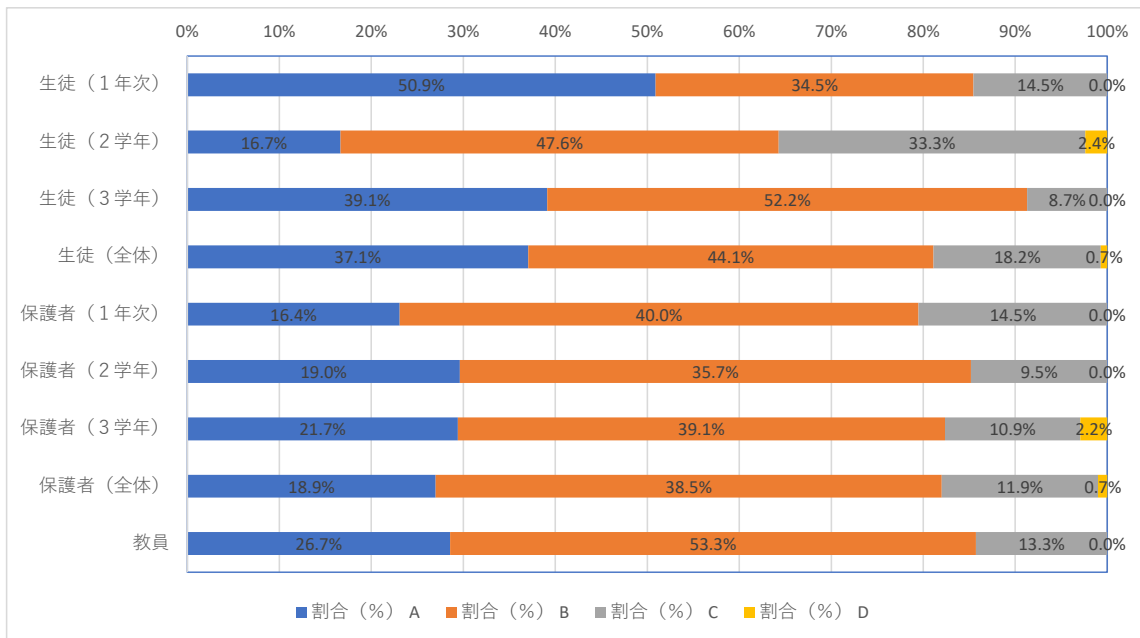
- ・生徒用タブレットのセットアップ時期が遅れたものの、校内での使用環境は整っているため、授業の資料や探求の発表に向けての編集活動に使われている。
- ・校内でのユビキタスの環境がほぼ整ったので、次年度からは年度初めより活用ができる環境が整った。

13. ホームページや配信メールなどを通じて、学校や生徒の活動について情報提供が行われている（を行っている）。



○情報ネットワーク部・教務部  
 ・部活動や学校行事等を含めホームページの更新回数が増えたことによる。情報発信が頻繁にできた。

14. 連携している中学校との活動（中学校の先生が高校で行う交流授業、草花を植える活動、部活動の合同練習など）を通して中学校との交流がなされている。

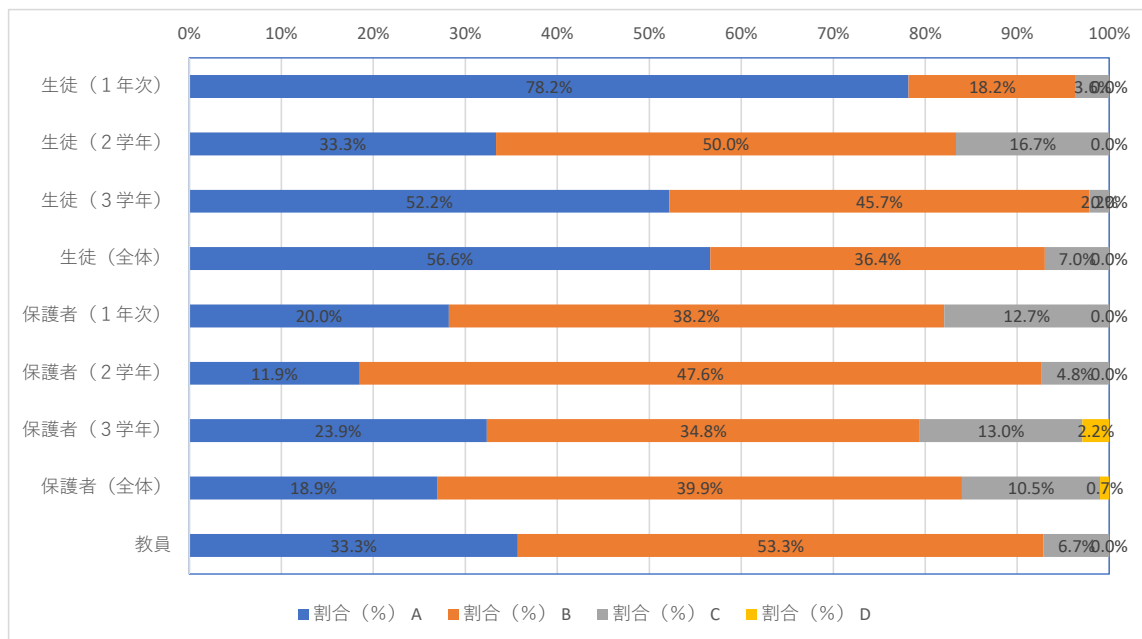


○総合学科推進部  
 結果から中高連携活動の実態が生徒・保護者に徐々に認識されているように感じる。効果的な連携活動を目指して内容の皆を知等も含めて、引き続き力を入れていきたい。

A：良く当てはまる    B：やや当てはまる    C：あまり当てはまらない    D：全く当てはまらない



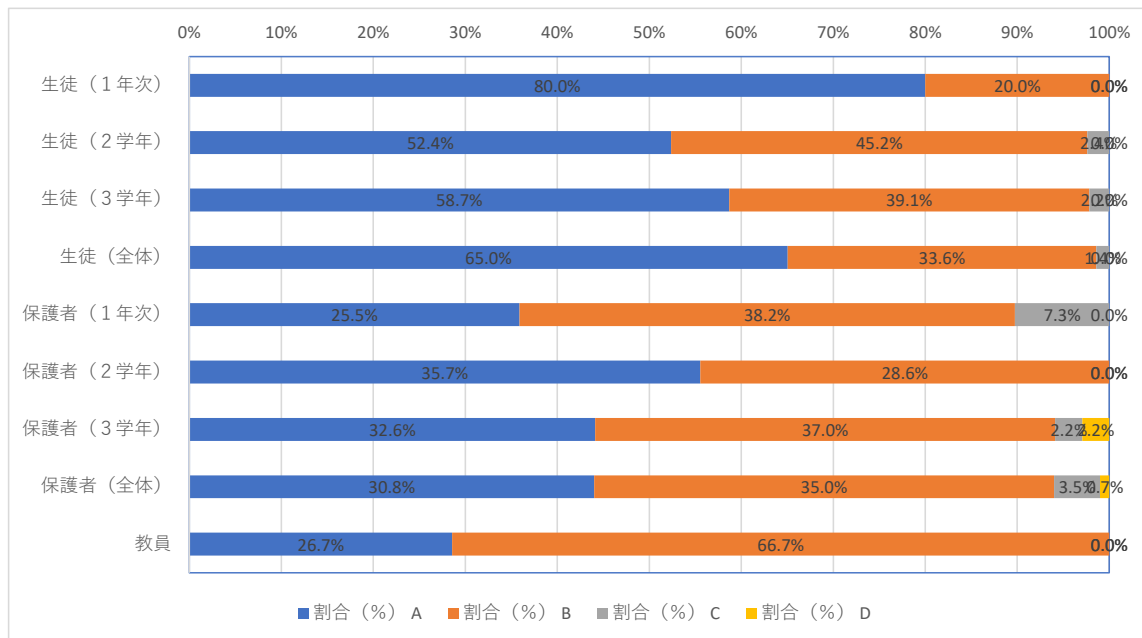
15. 南会津町や地元企業などと連携しながら、地域を深く知るための学び（探究型学習）が行われている（を行っている）。



○総合学科推進部

1年次のA評価の割合を筆頭に、生徒全体の認識としても地域と連携した探究学習の充実度に対する認識の広がりが見取れる。一方、探究学習に関する地域企業や住民との接点は依然少ないため、外部との関係構築も含め、更なる内容のブラッシュアップを進めたい。

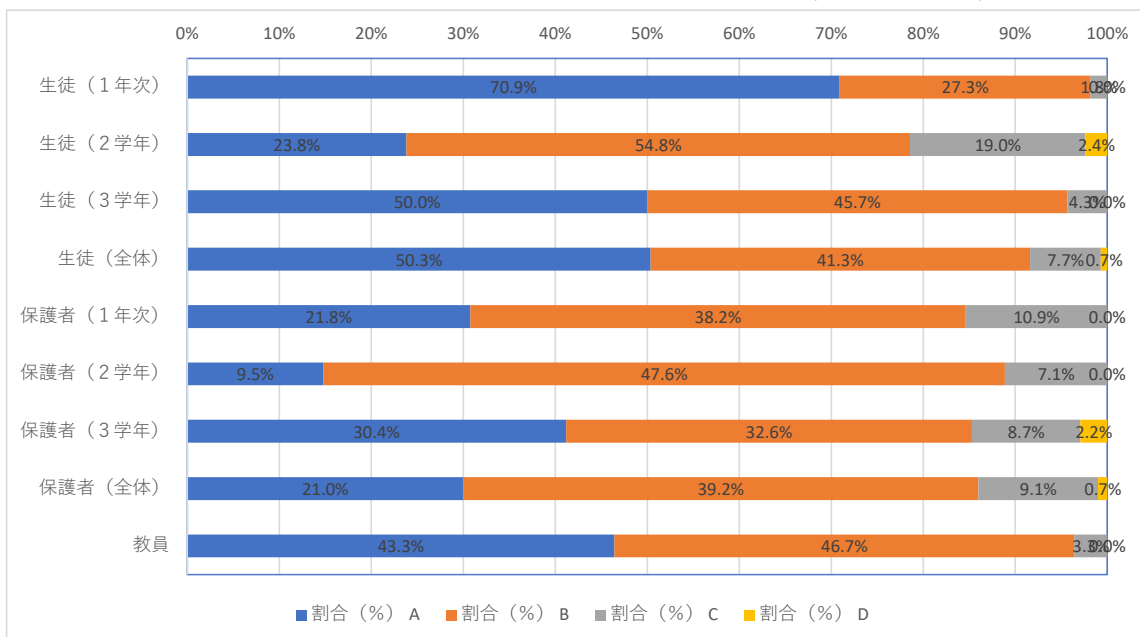
16. 除雪ボランティアなどを通じて、地域への貢献が行われている（に貢献している）。



1学年・2学年

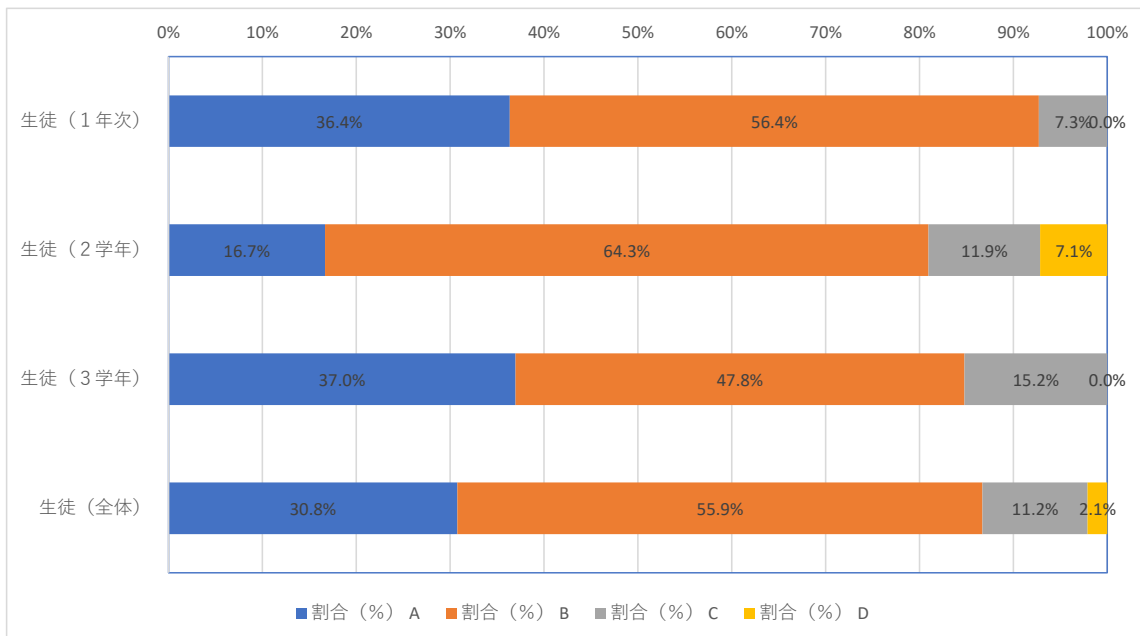
今年度も地域の方の協力のもと、除雪ボランティアを実施することができ、生徒たちも熱心に取り組んでいた。

17. 定期的に面談を実施するなどして、相談や要望に丁寧な対応がなされている（に対応している）。



**生徒指導部**  
 面接週間における計画的な面談に加え、担任・学年が生徒の状況を観察し個別面談を行うなど、生徒の悩みや問題の早期発見に努め、各部と情報共有しながら対応している。また、生徒会意見箱への要望についても生徒会役員中心となって協議・回答するなど、主体的な活動が見られた。

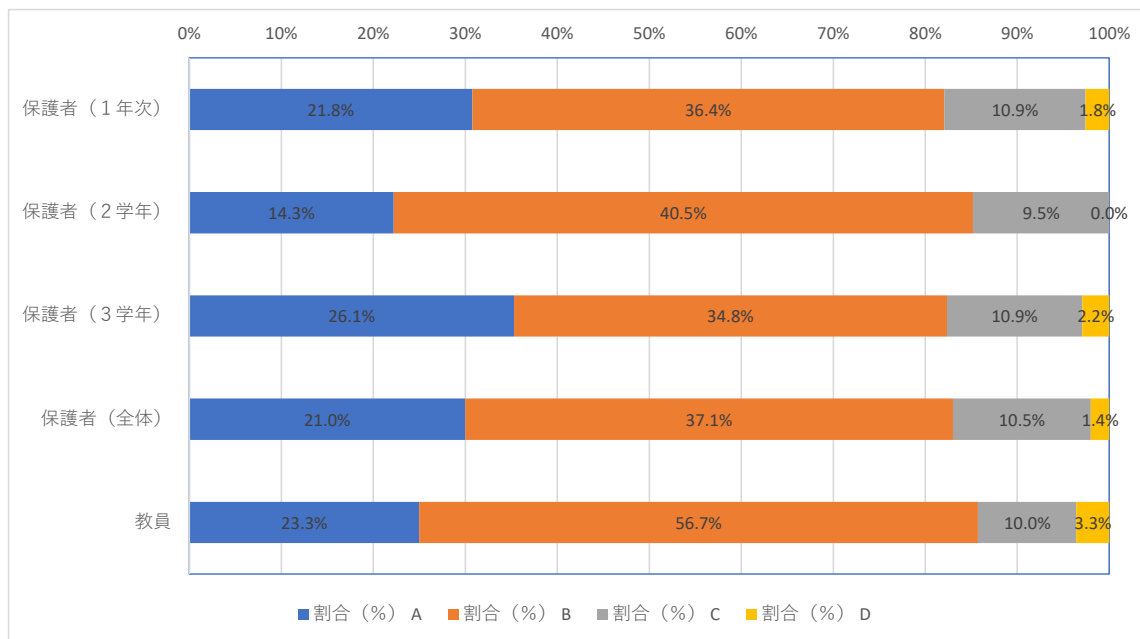
18. (私は、) 授業を通して、学力が向上していると感じている。【生徒】



**教務部**  
 概ね良い傾向だと考える。一方で、基礎学力の定着などを今後も図ってきたい。

19. 学校は、生徒の学力向上に向けて、積極的に取り組んでいる。【保護者】

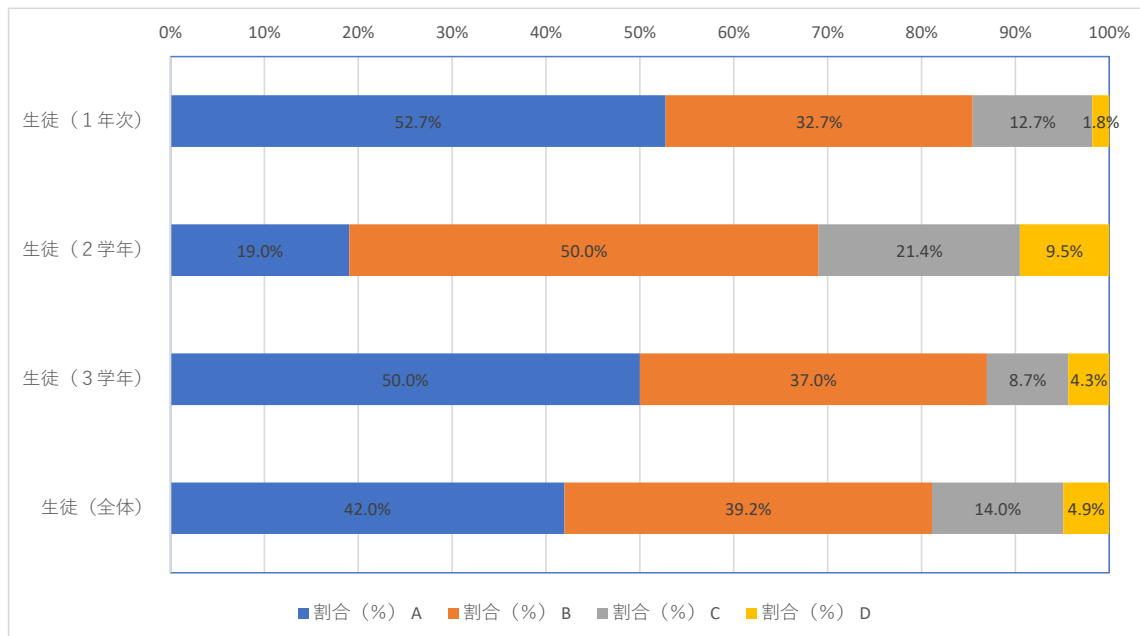
生徒の学力向上に向けて、積極的に取り組んでいる。【教員】



○教務部

課外授業や個別指導を通して、生徒の学力向上に向けて積極的に取り組んでいる結果がこのようなアンケート結果になっていると思われる。今後は、学習習慣が身につけていない生徒に対して、もっと手立てができないか検討していきたい。

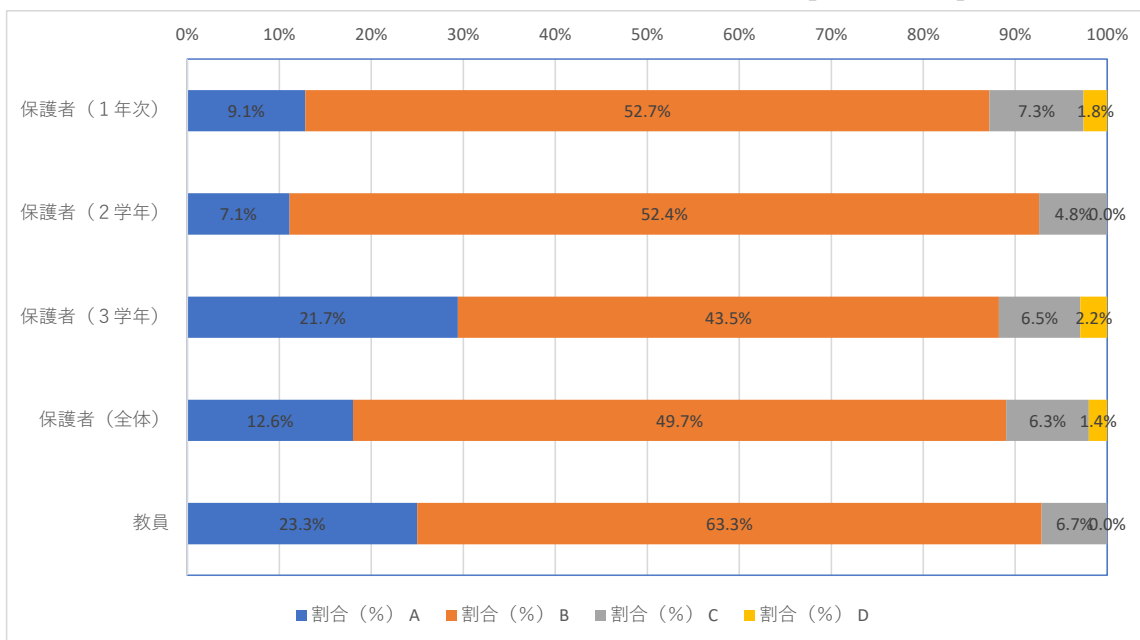
20. (私は、) 自学・自習 (予習・復習) の習慣や意識が身に付いていると感じている。【生徒】



○教務部

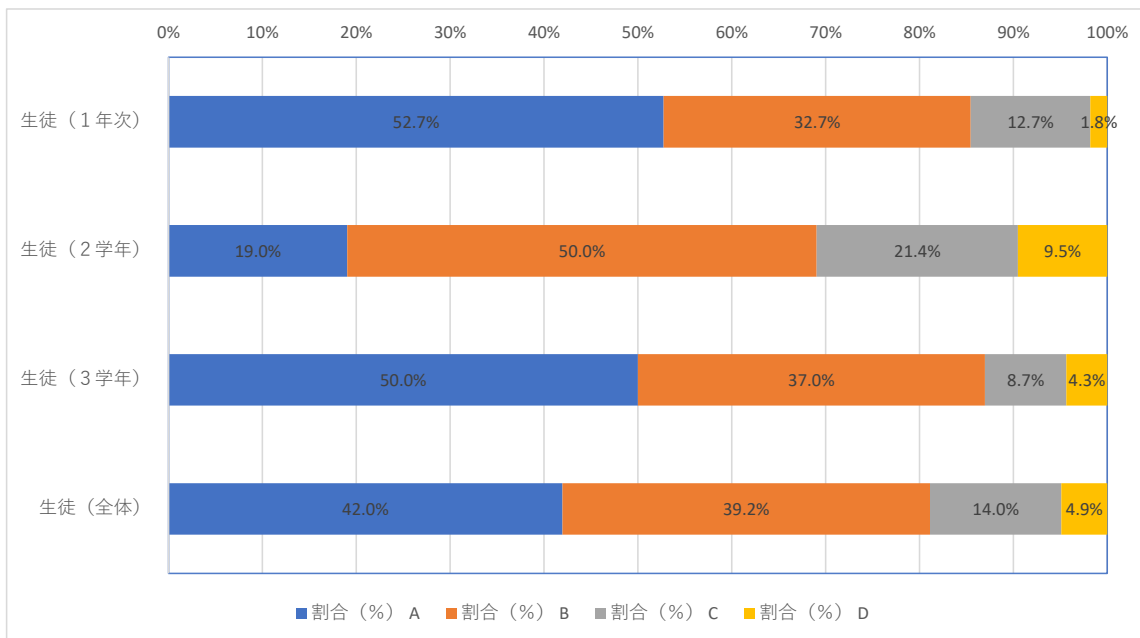
アンケートの結果からは自学の習慣が身に付いているとの回答であるが、実際のところ、習慣や意識が身に付いていると感じられない生徒が多くいるように感じる。学習習慣や意識については啓発する機会を増やし、生徒の学力向上を図りたい。

21. 父母と教師の会について、保護者と教職員が連携して活動が行われている。【保護者・教員】



○PTA  
 美化活動が台風のため中止になった。そのほか、保護者と連携して活動している。  
 広報誌等の活動も定例的に進められている。

22. (私は、) 自分の具体的な将来像(進路目標など)が描けている。【生徒】



○進路指導部  
 1, 3学年ともに半数以上が将来像を描けている結果となった。今後も情報発信を継続するとともに、担任  
 団と協力して、進路について考える機会を増やしていきたい。